

問1 源頼朝の弟である源義経が、源氏の軍を率いて平氏を西国に追いつめ、最終的に平氏をほろぼした場所はどこですか。

1. 関ヶ原 2. 桶狭間 3. 壇ノ浦 4. 室町

問2 室町時代に広まった「下剋上」とは、どのような動きや風潮のことですか。

1. 幕府の命令に従って、新しいお寺を建てる動き 2. 実力のある者が、上の身分の者に取って代わる動き 3. 貴族たちが、昔から伝わる古い決まりを守ろうとする動き 4. 豊かな商人が、貧しい農民に食べ物を分け与える動き

問3 日本に攻めてきた「元」は、もともとどこの地域の一部の人々が中国を支配してつくった国ですか。

1. インド 2. モンゴル 3. ヨーロッパ 4. 東南アジア

問4 室町文化において、茶の湯や生け花が単なる楽しみ以外に大切にされていたのはなぜですか。

1. お金を稼ぐための仕事だったから 2. 精神をきたえるためや、人との交流の場として大切だったから 3. 外国との貿易をすすめるための合図だったから 4. 将軍が強制的に練習させたから

問5 源頼朝が国ごとに置いた「守護」の仕事として、正しいものはどれですか。

1. 御家人の取りしまりや軍事、警察などを行うこと。 2. 外国との貿易を進めて、めずらしい品物を輸入すること。 3. 新しいお寺や神社を建てて、仏教を広めること。 4. 全国の田んぼや畑を耕して、米や野菜を作ること。

問6 室町文化の特徴として、当時の庶民の生活の様子をあらわしているものはどれですか。

1. 祭りや盆踊りが庶民の間でも定着した 2. すべての庶民が屋敷を持ち茶の湯を楽しんだ 3. 漢字を読み書きするための学校が全国に作られた 4. 貴族の言葉が全国の庶民の標準語になった

問7 鎌倉幕府がつくった「御成敗式目」は、何をとおこなうときの基準として定められた法律ですか。

1. 武士の裁判 2. 外国との貿易 3. お寺の建設 4. 朝廷の儀式

問8 3代将軍の足利義満が、京都の北山に建てた建物は何かですか。

1. 金閣 2. 銀閣 3. 東大寺 4. 法隆寺

問9 商業が盛んになるにつれて、各地で決まった日に開かれるようになった市場を何といいますか。

1. 問丸 2. 座 3. 関所 4. 定期市

問10 源頼朝の妻で、頼朝が亡くなったあとに、朝廷が幕府をたおそうとしておこした承久の乱のときに、御家人たちを団結させた人物はだれですか。

1. 北条政子 2. 清少納言 3. 紫式部 4. 日野富子

問11 朝廷が幕府をたおそうとして起こした戦いにおいて、幕府側の御家人たちが団結して朝廷の軍を打ち破るきっかけとなった、うったえをおこなった人物はだれですか。

1. 源義経 2. 北条政子 3. 北条時宗 4. 源頼朝

問12 源義経が率いる源氏の軍が、平氏を追いつめてほろぼした山口県にある場所はどこですか。

1. 鎌倉 2. 京都 3. 平泉 4. 壇ノ浦

問13 鎌倉時代に広まった、わかりやすい教えを持ち、武士や農民の間に広がった仏教のことを何と呼びますか。

1. 新しい仏教 2. 外国の仏教 3. 古い仏教 4. 貴族の仏教

問14 北条時宗が元軍との戦いに備えて、守りを固めるために武士たちに築かせたものは何ですか。

1. 防塁 2. お城 3. 関所 4. 大仏

問15 元（げん）が2回目の来襲（らいしゅう）をしてくることにそなえて、幕府が海岸沿いなどに築かせた、守りのための石の壁を何といいますか。

1. 守護 2. 関所 3. 地頭 4. 防塁

問16 鎌倉時代に、吉田兼好（兼好法師）によって書かれた随筆は何ですか。

1. 徒然草 2. 枕草子 3. 方丈記 4. 平家物語

問17 書院造の具体的な特徴として、ふすまや障子、畳などが使われていることがあげられますが、これは現代の何のものになったものですか。

1. 和室 2. 洋室 3. 台所 4. お風呂

問18 室町幕府において、大きな力を持つようになった有力な守護のことを何と呼びますか。

1. 御家人 2. 戦国大名 3. 守護大名 4. 地頭

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 3 壇ノ浦	源義経は平氏を西国へと追いつめ、壇ノ浦の戦いで平氏をほろぼしました。
問2	答え 2 実力のある者が、上の身分の者にとって代わる動き	当剋上は、身分が下であっても実力がある者が、上の身分の者にとって代わる動きや風潮のことです。
問3	答え 2 モンゴル	元は、モンゴルの一部の国が中国を支配してつくった国で、日本にも攻めてきました。
問4	答え 2 精神をきたえるためや、人との交流の場として大切だったから	当時の武士や貴族にとって、静かに茶を点てたり花を生けたりすることは、自分の心を見つめ直す精神修養（精神をきたえること）や、大切な客人を招いてお互いの心を通わせる大切な交流の手段でした。
問5	答え 1 御家人の取りしまりや軍事、警察などを行うこと。	守護は、国ごとに置かれて御家人の取りしまりや軍事、警察などの役割を果たしました。
問6	答え 1 祭りや盆踊りが庶民の間でも定着した	室町時代は、武士や貴族だけでなく、庶民の間でも文化が広がった時代です。各地で季節の行事である祭りや盆踊りが楽しめるようになり、人々の生活に文化が根付いていきました。
問7	答え 1 武士の裁判	御成敗式目は、武士の裁判を正しくおこなうための基準としてつくられた法律です。
問8	答え 1 金閣	3代将軍の足利義満が京都の北山に建てた建物は、金閣です。
問9	答え 4 定期市	商業が盛んになるにつれて、各地で定期的に開かれるようになった市場を定期市といいます。
問10	答え 1 北条政子	北条政子は源頼朝の妻で、頼朝の死後に幕府の危機を乗り越えるため、御家人たちを団結させた人物です。
問11	答え 2 北条政子	承久の乱では、北条政子のうったえによって幕府側の御家人たちが団結し、朝廷の軍を打ち破りました。
問12	答え 4 壇ノ浦	壇ノ浦は、源義経が率いる源氏の軍が平氏を追いつめてほろぼした、山口県にある場所です。
問13	答え 1 新しい仏教	鎌倉時代には、それまでの難しい仏教とは異なり、武士や農民にも理解しやすい「新しい仏教」が広まりました。
問14	答え 1 防塁	北条時宗は、元軍の攻撃から守りを固めるために、武士たちに防塁を築かせました。
問15	答え 4 防塁	元の2回目の来襲にそなえて、幕府が海岸沿いなどに築かせた守りのための石の壁（石塁）を防塁といいます。
問16	答え 1 徒然草	鎌倉時代に吉田兼好（兼好法師）によって書かれた随筆は「徒然草」です。
問17	答え 1 和室	書院造は、ふすまや障子、畳などが使われており、現代の和室のもとになった建築様式です。
問18	答え 3 守護大名	室町幕府の時代に、大きな力を持つようになった有力な守護のことを守護大名と呼びます。